

Photo Haiku Book の共同作成と、相互鑑賞、
評価の共有における ICT の活用
(NEW HORIZON English Course 3 Unit2 Haiku in English)

① 統合

② 個・調

② 協・発

② 評価

③ タブ

【ここがポイント！】

④ Google スライド

◎タブレットを効率よく使って協働し、言語活動の量と質を向上することができる

①「協働で作品制作」

Photo Haiku in English を作成し、Google スライドでブック形式にしてクラスごとにまとめる。共同編集で作成することで、互いにどんなアイデアで写真を取り入れ、言葉を選択するかを確認し合い、協働して作品作成に取り組むことができる。途中経過を共有することで、自然にアドバイスし合い、それぞれスムーズに練り直すことができる。

②「Google ジャムボードの活用」

作品鑑賞は、スライドになっているので各自で何度も見ることができる。また、相互に評価やコメントを贈る活動では、Google ジャムボードを使い、多くのコメントを贈ることを目標とする。また、他の人のコメントを見ることで、表現をより良いものや適切なものに工夫しようとする意欲が高まる。

【実践の目標】

Photo Haiku づくりを通して、日本文化の魅力と英語の楽しさを感じることができる。また、協働学習を通して、アイデアや表現を深めることができる。

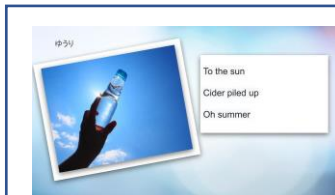
【実際の場面】

1. Photo Haiku の作り方の動画を見てイメージを高める

Haiku in English のルールを確認した。クラスでテーマを決めて、それぞれが俳句を詠みたい写真を集めた。フリー素材、またはタブレットでの撮影とした。

2. クラスの Haiku Book というスライドで、ページを決めて作品制作を行う

早く進む人の作品や、言葉のチョイスのセンスについて紹介するだけで、より工夫して取り組んだ。



3. Photo Haiku Book として作品完成

ALT の先生とスライドショー鑑賞会を行った。ALT の先生に言いたいことが伝わっているかを確認した。

4. 多少の微調整ありで作品の最終提出

それぞれの提出スライドに貼り付けて Google クラスルームに提出した。個人作品として ALT、JTE がそれぞれコメントをつけて評価して返却した。

5. スライドショーを見ながら、英語でクラスメイトにコメントをする

これまでは、紙の付箋を使ってきたが、今回の学習で初めて Google ジャムボードを使った。コメントを共有しているので、意欲的に表現に工夫を加える生徒が出てくる。その良さについて表現とコミュニケーションの観点での評価を紹介することで、全体の言語活動の質と量も向上した。

6. 評価への活用

後日、Google ジャムボードを整理してその表現の質と量について指導者が評価を行った。

【成果と課題】

【成果】

- Photo Haiku の作成を共同編集で行うことで、スライド作成の操作技能が向上した。また、互いにアイデアや表現を練り直すことで、言語活動の質・量とも向上した。
- 完成作品を評価する際に、タブレット上の Google ジャムボードで行うことで、無駄なくより多くのコメントを書くことができ、言語活動の質・量とも向上した。さらに、表現を共有し合うことで、コメントの表現力を意欲的に伸ばすことができた。
- 作品もジャムボードのコメントもクラスルーム上で評価できるため、ALT と共同での評価が効果的にできた。

【課題】

- 共同編集では操作方法とルールを徹底しないと、間違っって消去してしまうなどトラブルになるため注意が必要であると感じた。
- Google ジャムボードを初めて使用したため、よりスムーズに整理できないかを感じた。

廿日市立阿品台中学校

